

Via Latina 22



231号 2014年4月

総本部よりのお知らせ—マリア会



マリア会への3名のベトナム人志願者

日本マリア会への3名のベトナム人志願者が宗教ビザを取得し日本へ入国出来ました。彼らは、レ・ゴック・ドアン、レ・ヴァン・シンとハム・ヴァン・カウの3名です。もう一人の志願者、グエン・チャン・ミン・クアンは既に2013年10月2日に日本にきています。

清水神父が4月4日(金)、ホーチミン市にて彼らと合流し6日(日曜日朝)に彼らを伴って東京に到着しました。

“このことは私たちの創立者である福者シャミナード師と尊者アデルの奇跡的な執り成しのお蔭であると確信します。なぜなら、これら全ては彼らの帰天記念が行われている10日間に、また、日本と世界マリアニスト家族の兄弟、姉妹の弛まない祈りの最中に実現したからです。主に感謝します。また全ての皆さんに感謝します。” (地区長 青木勲神父の言葉です)



Nguyen Tran Minh Quan



Le Ngoc Doan



Le Van Sinh



Ham Van Cau

2014年のご復活祭にあたり、Via Latina 22から皆様へ心からの挨拶を送り、復活された主が全世界の人々に平和をもたらして下さるようお祈りいたします。

フランス管区長 新たな任務



Fr. Eddie Alexandre, SM

Eddie Alexandre 師はマリア会総長とその評議員会によってフランス管区長としての二期目に任命されました。その決定はマリア会フランス管区、コートジボワール地区、コンゴ特別地区の全ての修道者との相談の上行われました。この任務は2014年8月15日から始まります。

共同体の全会員に宛てた任命の手紙の中で、Manuel Cortés総長は次のように表明しています。“私は彼がこの任務を果たすことを快く引き受けられた事に感謝します。皆さんが見せた彼への支持は、彼の任務への強い励ましであり、皆さんがしばしば指摘されたように、全会員への奉仕にあたって、彼が自分の内面的な資質と一人ひとりに対する兄弟的気配りを提供し続ける力となるでしょう。”

福者シャミナード師の列聖のための祈り



の出来事はローマ列聖省と連携する医療顧問たちによって注意深く考査されます。この過程は数か月継続することもあります。なぜなら、いくつかの段階があり、私たちは今のところその最初の段階にあるからです。とはいえ、この最初の段階の専門家の意見は、列聖調査がどのように進んでいくかということに重要な影響を与えます。この継続する過程を考慮に入れて、総長評議員会はマリア会の全共同体とマリアニスト家族の全メンバーに対して、このシャミナード師列聖という意向をこの時点での皆様の祈りの中で保ってくださいよう要請します。**福者シャミナード神父の列聖を求める祈り**のテキストがこのページに添付されています。今回の列聖調査に対する前向きな結果が出て、私たちの創立者がいつの日か全世界の教会に於いて”聖人“の位に挙げられるというお恵みに導かれるよう祈るために、皆さんはこの祈りを選ぶこともできるし、他の方法を選ぶこともできます。

4月8日、私たちはマリア会創立者である福者ギヨーム・ヨゼフ・シャミナード師の253回目の誕生日を記念します。皆さんの多くの方がご承知の通り、この時期に、一つの治癒がバチカン列聖省によって聖人の証としての奇跡によるものかどうか審査されます。

これはアメリカ、セントルイスに住む一人の女性、Rachel Baumgartner Lozano嬢の病気治癒に係るものです。約10年前彼女は10代の頃、珍しい再発する癌から治癒したものです。彼女とその家族、および友人たちはシャミナード神父のとりなしで病気が治るよう祈り続けました。神のお恵みで、Rachel嬢は治癒後健康を維持しています。もしバチカンがこれは確かに福者シャミナード師のとりなしによる治癒であると決定すれば、彼はその後間もなく列聖されるでしょう。

病気治癒の審査はバチカン列聖省で決められた道筋で行われます。長い準備期間を経て今この審査は最終決定の局面に入りました。通常、治癒に関する医学上

福者シャミナード神父の列聖を求める祈り

教会の中で、絶えず働き続けられる主よ、あなたは民の善のために、人々と共同体を通して、常にそのご意志を明らかに示されます。

あなたは、使徒として、ギヨーム・ヨゼフ・シャミナードを選ばれ、福音に忠実に生き、人々の救いのために献身するよう、その活動を特別に導かれました。

そして、あなたに身を捧げたシャミナードと同じ精神で生きる望みを人々に抱かせ、マリアの導きのもとに、教会に奉仕する男女の共同体を起こされました。

後継者であるわたしたちが、シャミナードの取り次ぎによって願う（病人の回復）の恵みをお与えくださり、シャミナードの聖徳を明らかにしてください。

罪の汚れのないおとめマリアによって、父と子と聖霊とが至るところでたたえられますように。

アーメン。

ヨーロッパ・マリアニスト養成センター ローマで信仰に関するシンポジウムを開催

ヨーロッパ・マリアニスト養成センターは、その最初の会合のために、信仰年に因んで信仰に関するマリアニストシンポジウムを計画してきました。この会合は4月23日から25日にかけてローマのVia Latinaのマリア会総本部にて開催されます。スイス、オーストリー、フランス、スペイン、イタリアから23名のマリアニスト修道者(SM・FMI)が参加します。これはヨーロッパ・マリアニスト養成センターによる初めての開催でありその目的は信仰年にあたりマリアニストの見解を表明することにあります。



Via Latina 22, Rome

この会合には信仰に関する様々なトピックスについての方針説明書(position papers)が準備され、マリアニストの具体的な経験に関する考察を提示する他の発表と意見交換を行うこととなります。

以下の方針説明書(position papers)が準備されていますが、出発点としてローマ教皇の回勅、「信仰の光」(*Lumen fidei*)を取り上げています。

- “回勅「信仰の光」：洞察と示唆”
- “福者ギヨーム・ヨゼフ・シャミナード師のキリスト教活動計画”
- “シャミナード師の時代から現代に至までの宗教無関心”
- “信仰の女性、マリア”

そして他の予定されてる発表として；

- “マリアニスト家族：私たちの共同体において信仰を生きる”
- “マリアニスト家族：世俗化した社会にあってキリスト教信仰を表明する”
- “小教区共同体で信仰を生きる”
- “(学校)教育共同体で信仰を生きる”
- “信仰に鑑みたヨーロッパにおける私たちの使命”
- “諸宗教間の対話における信仰への挑戦”

この幅広く深みのあるプログラムは、ヨーロッパ・マリアニスト養成センターの養成計画の最初の段階であり、ヨーロッパにおける新しい専門家とマリアニストカリスマを普及させる人たちを養成するのに貢献するものです。

四旬節 2014年

復活に向けての歩みである四旬節を生きることは、それが神から来る時、生命を体験すること、すなわち、すべての人にとって、特に地球上の最も貧しい人たちにとって、生命の賜物を体験することになります。福音の喜びの中で、愛となる信仰の四旬節。

最貧40ヵ国と過ごす40日間へのリンク：

<http://40ultimos.org>

祈りの意向

南米コロンビア地区の財務部長、Héctor Dario Castelblanco は、マラベル(Malaver)氏の病氣治癒の為に福者シャミナード師に対する執成しの祈りを願っています。マラベル氏は脊髄腫瘍と診断されました。

マラベル氏はコロンビアの信徒マリアニスト共同体のメンバーです。(マリア会Antonio Gascón師)



メールアドレス変更

- Bro. Joseph Grieshaber (US):
jgrieshaber@stmarytx.edu
- Fr. Robert E. Hughes (US):
mariancenter@hotmail.com
- Bro. Yves Le Goff (FR):
mlegoff.yves29@gmail.com

総本部からの 最近の通信

- 訃報 #7
- 3月14日: 教育局長、Maximin Magnan 士から、マリア会のすべての教育部長に3か国語で、“2014年教育機関”のための情報が要請される



総本部日程

- 2月27日-4月8日: 総長評議員会のスペイン管区訪問継続
- 4月10日-12日: ローマでの総本部財務委員会会議
- 4月22日-5月1日: 総長と財務局長のキューバ(スペイン管区)創設体の訪問

